

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の学習意欲の向上や進路希望の実現のために教育課程の見直しや組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②ICTの利活用を促進することにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。</p>	<p>①教育課程が、生徒の実態とニーズに合っており、進路希望の実現に即しているか検証する。</p> <p>②ICTを有効活用できるようになるとともに組織的な授業改善を行い、生徒の深い学びにつなげる。</p>	<p>①アンケートの実施により教育課程が生徒の実態とニーズに合っているかを検証し、見直しの必要性があるかを確認する。</p> <p>②教員および生徒向け ICT 研修会の実施と各授業におけるさまざまな ICT の活用を体験し、ICT 有効活用のスキルを身に付ける。</p>	<p>①生徒が日々の授業に意欲的に取り組んだか。様々な学習課題に主体的・対話的で深い学びを持って対応したかを確認する。</p> <p>②授業時に学習内容に合わせた ICT 活用を行ったか。実際に研修を行うことができたか。生徒対象に ICT に関するアンケート調査を行い、回答状況を確認する。</p>					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①高い人権意識と幅広い視野を持った生徒を育成するため、教育活動の中に自己肯定感を育む機会を多く取り入れ、生徒の自主性や積極性を高めるとともに、他者との協働による成長を支援する。</p> <p>②教育相談システムの活用を促進し、心の健康と安心・安全な学校生活を実現するとともに生徒の自己解決力の育成を支援する。</p>	<p>①学校行事や生徒会活動において、生徒一人ひとりが目標や役割を意識しながら参加することができるよう支援する。また、生徒同士が自己や他者を認め、協力しながら目標を達成していく力を育成する。</p> <p>②すべての生徒が相談しやすい環境を整え、教員向け各種研修会を行うことで、生徒自身が自身の問題に向き合い、解決するために行動できる力を育成する。</p>	<p>①生徒が主体となって行事運営ができるよう、目標を明確にし、委員会活動を充実させる。生徒間での話し合いが積極的になされるよう LHR を設定し、サポートを行う。</p> <p>②多様な研修会(生徒向け教員向け)を実施し、それぞれが課題に対応する力を育む機会を設ける。</p> <p>③面談期間を有効活用し、生徒の課題等の早期発見情報共有を行う。必要に応じて、SC、SSW 等と連携する。</p>	<p>①学校行事や部活動において生徒が主体的に参加することができたか。LHR と委員会間の意見交換ができ、効果的に話し合いがもたれたか。アンケート等を用いて確認する。</p> <p>②さまざまなニーズに合わせた研修会を行うことができたか。</p> <p>③SC、SSW 等を活用し、生徒が抱える課題の解決につなげることができたか。</p>					
3	進路指導・支援	<p>①社会情勢の変化に応じて多様化する進路について外部機関と連携し、進路情報を収集・評価・提供し、生徒の進路実現につなげる。</p> <p>②3年間を見通したキャリア教育となるよう、各年次、各時期に行うべきキャリア教育を精査し、幅広い知識と判断力を育成し、自己のキャリア形成を支援する。</p>	<p>①受験科目の変更を調査するとともに、大学などと連携をし迅速に基礎学力テストや総合型選抜に必要な能力などの情報をとり入れ、外部機関からも情報を収集する。また、企業研究・地元探求などを通して、社会情勢を学ぶ機会を設定する。</p> <p>②キャリア教育計画を視覚的に明確なものとし、共有し職業観を全学年で身につけ進路選択を具体的に考えられるようにする。</p>	<p>①総合的な探究の時間での取り組み、外部機関の提供情報などを精査し、教職員で共有するとともに生徒に必要な情報を周知・提供する。</p> <p>②キャリア教育計画を表や図で表し、総合的な探究の時間に職業の理解を促し周知する。</p>	<p>①生徒が進路活動において、受験科目を把握することができたか。また、企業研究・地元探究などを実施し、発表することができたか。</p> <p>②キャリア教育計画を表や図で表し、周知することができたか。また職業観を身につけることができたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①保護者や地域から信頼される学校運営のため、地域に参加し貢献する機会を増やす。</p> <p>②学校運営協議会を活用し、教育内容の充実を図るとともに、広報活動を充実させ、学校外への発信や教育活動の共有を推進する。</p>	<p>①清掃活動以外にも、地域と交流する機会を作り、地域との信頼関係を築くとともに社会性を養う。</p> <p>②学校外への情報発信(広報活動)を丁寧に行い、多くの方に教育活動への理解をいただく。</p>	<p>①生徒会・委員会・部活動に所属する生徒等と地域との交流について考える場を作り、清掃活動以外の交流を行う。</p> <p>②広報活動の充実とともにホームページの更新頻度をあげ、最新の情報提供を行う。学校運営協議会をはじめ多くの方からのご助言やアドバイスを活かし、よりよい教育活動を行う。</p>	<p>①清掃活動以外にも地域に貢献する活動や地域と交流する活動を行うことができたか。その活動を通して地域との信頼関係を作り、社会性を育むことができたか。</p> <p>②ホームページの更新回数が増えたか。説明会等においてアンケートを行い、必要な情報を得られ充実した内容であったか回答状況を確認する。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①教育公務員としての綱紀の保持や意識向上を図り、事故・不祥事の防止を徹底する。ICTを用いて組織的なチェック体制を整える。</p> <p>②避難所に指定されている意識を持ち、地域と協力して防災活動を行い、有事の際は、避難所としての機能を果たすため、生徒の防災意識の向上を図る。</p>	<p>①ICTを活用したり、教員間の協働により業務のスマート化を進め教員の心身の健康確保に繋げることを目指しながら、職場全体の健康と事故・不祥事の未然防止に努める。</p> <p>②災害発生時にスムーズな対応や行動がとれるように地域と連携して、広域避難所としての防災意識を高める。</p>	<p>①管理職と協力し、ICTの活用などを通して、事故防止に係る重要事項を共有する。また、お互いの声掛けや職場のペーパーレス化など、業務の効率を上げ、健康的な職場環境を目指し、事故不祥事防止の徹底に努める。</p> <p>②地域との避難訓練運営会議などの内容を、ICTを活用し、教員間で共有を徹底する。地域の防災課題を踏まえ、万が一の有事の際に一人ひとりが行うべきことを自覚する。</p>	<p>①昨年度よりペーパーレス化をより一層進めるなどし、業務の効率化を進めることができたか。日常的に職員間の声掛けが行われ健康的な職場を維持し事故・不祥事を未然に防ぐことができたか。</p> <p>②避難所訓練会議での内容を踏まえ、本校が有事の際に行うべきことや備えにおける教員に対する研修や生徒に対する教育を行うことができたか。</p>					